

附属機関等の会議結果の公開 様式

会議名	令和4年度第2回愛荘町立図書館協議会 会議結果(概要)
開催日時	令和4年(2022年)11月16日(水) 19時30分～21時10分
開催場所	愛知川図書館
出席者	西澤基治会長、安孫子雅城副会長、大辻登代子委員、辰巳和美委員、辻野ミ子委員、西村知子委員、野村仁美委員、平野宏文委員
事務局	教育長 徳田寿、図書館長 三浦寛二、図書館参事 小川亜希子、図書館課長補佐 藤野佳美、小豆畑靖、図書館主任(司書)南彩香
傍聴者	1人
議 題	(1)今年度上半期 行事の報告、図書館利用状況について (2)図書館計画の更新について (3)その他
審議内容	<p>(徳田教育長挨拶)</p> <p>本日はご多忙のところ、ご出席いただきありがとうございます。</p> <p>読書の秋となりました。教育委員会では減メディア、親読書の取り組みを進めていますが、先日、サップという海上競技で世界最年少で世界一になった選手の紹介で、実家にはテレビを置いておらず、小中学校の9年間で本を2000冊以上読んだ、という記事がありました。読書を続ける中で、コース取りをイメージし、世界一に結び付いたのでは、と紹介されていました。</p> <p>減メディア親読書の取り組みは道半ばではありますが、小学校に配置した図書指導員の効果は貸出冊数の増加など確実に結びついています。お母さんのお腹の中から高校卒業までの16年間、読書がそれぞれの人の力になり、学力のベース、人生のベースとなるよう、皆様のご意見を頂戴し、読書を推進してまいりたいと思います。</p> <p>(事務局(館長))</p> <p>本協議会は愛荘町立図書館条例および愛荘町立図書館協議会規則により運営されています。本日の参加者は8名であり、過半数を超えていますので会議が成立しています。</p> <p>(会長)</p> <p>それでは議案1、令和4年度上半期図書館利用状況と行事实施状況について事務局よりお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>今年度上半期の主な行事として、ほんてつ主催による動画によるビブリアバトル、また9月にはウィキペディアタウンを開催しました。10月にはブラジル映画の上映のほか、健康推進課と連携し健康推進講座を開催しました。絵本作家のはたこうろうさんによる絵本ライブも開催しています。秦荘図書館ではオーダーメイドお話し会や音読教室を開催しています。</p>

9 月は図書館システムの更新のため臨時休館しました。図書館システムの更新により、従来できなかったメールによる予約本の通知や、了解を得られた方はこれまで借りた本の記録を見ることができる機能が追加されました。

(事務局)

愛知川びんてまりの館では、ほんてつ版ビブリオバトルの開催のほか、絵本作家の西村敏雄さんの絵本原画展を開催しました。現在は「ART で知ろう、つながろう ブラジルと日本」を開催中です。

入館者数は昨年度とそれほど変化はない状況です。

(会長)

意見がなければ、議題 2、愛荘町まちじゅう読書の計画(愛荘町図書館サービス計画・愛荘町子ども読書活動推進計画)の更新について事務局よりお願いします。

(事務局(館長))

図書館計画の更新について、前回様々なご意見を頂きました。ご意見を資料にまとめましたのでご参照ください。これらのご意見は、できる限り計画に反映してゆきたいと考えています。今後、次回 3 月の図書館協議会で改革の素案をご提示し、次年度 5 月に素案の確定、その後パブリックコメントを経て計画の策定となる予定です。

今回 1 件お願いがあります。現在の図書館計画には、キャッチフレーズがありません。健康推進計画には「はじめよう たのしい健康づくり」といったキャッチフレーズがありますので、ぜひキャッチフレーズをお考えいただき、事務局へお知らせください。この場では難しいかと思しますので、年内に図書館へお知らせいただければ幸いです。

なお、国の法律で読書バリアフリー法が成立しております。この法律は、様々な障害により活字へのアクセスが困難な方への読書や情報の提供を保障するよう求めています。この法律に基づき、国や県では読書バリアフリー計画を策定しており、市町での策定も求められています。そのため、次回の計画には読書バリアフリーに関する計画も盛り込む予定をしています。

(会長)

愛知中の新しい校舎の図書室はどこにできますか。

(教育長)

まだ完成しておらず、既存の校舎を改築した中央棟に設置する予定です。

(会長)

中央棟は他の建物とつながっていますか。

(教育長)

3 階までの各建物とつながる形となります。

(副会長)

現在の計画の目標数値で、本を読んだ人の割合は小学校で 100%、中学校で 80%は現状の数値と比べて非常に高い目標値と思いますが、いかがですか。

(事務局(館長))

県や国平均を参考に設定しました。小学校の 100%は、小学生は全員読んでほしい、という願いも込めていたと記憶しています。現実には中学生は部活や勉強に忙しく、実現は困難な面もあるかと思えます。

(教育長)

中学生は忙しいと言っても、読書の時間が全く取れないわけではなく、朝読書の取り組みや教室の学級文庫の充実など、本が身近にある環境を整備することも大切と考えています。部活も、最近は本を読んで考えることで成果を上げる部活もあり、本の活用方法を広げることを考えたいです。

(委員)

平成 26 年から 29 年の間に国が学校図書館の整備方針を示し、学校司書配置を奨励しました。県内の各自治体は様々な形で学校司書を配置していますが、愛荘町はいち早く全小学校に毎日朝から配置するという体制を整備し、非常に充実し利用されています。この点は評価されてもよいと思う。

(委員)

小学校 1, 2 年生にボランティアでお話し会に行ったときに、つるのおんがえしの話を知っている人を子どもに聞くと、おおむね半分くらいでした。知っている人は、先生やお母さんから読み聞かせしてもらった人が多く、昔話は小さいころから頭に残ると思いました。

(事務局(館長))

スマホが浸透していますが、理想としては小さなお子さんのいるご家庭は、1 日 1 回でも絵本を保護者の方が読んであげる時間を取ってもらえればと思います。

(委員)

孫の小さい頃は隣の子も呼んできて一緒に読み聞かせをしましたが、小学校高学年になると他のことに興味が移ってしまいます。

(事務局(館長))

子どもの成長に従って世界が広くなると思いますが、幼いころに本を読んでもらった経験はずっと良い記憶として残ると思います。地域の子どもたちにもよみかかせをされていたのはありがたいです。まちじゅう読書を地域にどのように広げるのかは、課題の一つです。

(委員)

今年の夏に据え置き型ビブリオバトルを開催しましたが、中学生が数名本を紹介してくれました。動画の図書紹介を作成し、中学生にも撮影を頼みましたが、中学生が自分の言葉で時間内に話す姿が頼もしかったです。中学生の読書の状況は厳しいですが、自分の言葉で話して聴いてもらう体験ができたと思う。また、中学生も、自分が尊敬している人から紹介されたり、面白いと思った本はないがしろにしないと思う。素晴らしい中学生がいて感動した。ビデオが図書館にあるのでぜひ見てください。

(事務局(館長))

ビブリオバトルは素晴らしい企画です。中学生の読書率は低いものの、しっかりと本を読み、意見を言える中学生もいます。中学生の持つ力をどのように引き出すか、ほんてつさんの力を借りつつ、読書のカやプレゼンテーションの能力を伸ばすことができれば、と思います。中学生への読書推進では、ほんてつさんと今後、中学生が主体的にビブリオバトルを開催するような形式で開催できないかと話しています。

(委員)

ビブリオバトルは、学校の先生の協力が得られるのであればボランティアが学校に行き開催することが可能です。県でこの事業を行っており、とても盛り上がりがあります。そのほか、据え置き型ビブリオバトルをおすすめ本紹介の形にして、模造紙に貼って紹介することも面白いと思います。また、県で出版している「ほんたの」や、ハイスクールおすすめ 50 選は、ポスターにまとめて作成しており、クラスに掲示すると興味を持ってもらえると思います。

(事務局(館長))

ありがとうございます。愛荘町でも夏休み前に、夏休みに読むおすすめ本のブックリストを作成し、可能な限り小中学校の各教室で紹介しています。そのほかの活動も考えたいと思います。

(委員)

ブックスタート事業は図書館事業ですか。

(事務局(館長))

ブックスタートは図書館事業ではありませんが、本の選定などの協力を図書館がしています。

(委員)

4 か月児検診ときらきらバースデイの 2 回、絵本が渡される愛荘町は素晴らしいと思う。他市町は 1 冊なので。検診時に渡すことも、漏れがなくて良いです。きらきらバースデイに来られていない子どもの自宅にも訪問し手渡しで本を渡しています。アンパンマンのエプロンをして行っても開けてもらえなかった扉を、絵本があると開けてくれる家もあります。

ブックスタートはいろいろな課による一つの事業として根付いてきていて、大きな市ではここまでのことはできないと思います。

(委員)

ブックスタートやきらきらバースデーによみきかせに行っていますが、渡した本を活用している声をよく聞きます。検診に来ていない子どもには保健師さんが手渡しをしていると聞き、欠けているところがないと感じます。

(委員)

本に触れる機会ということでは、小学校 5 年生では「うみのこ」、中学校 2 年生で「キャリア教育」を全員が受けます。「うみのこ」では琵琶湖に関する本を、「キャリア教育」では将来のキャリア形成に関する本を紹介するのも良いと思います。

(事務局(館長))

「うみのこ」に合わせて本を紹介するのは、小学校とも連携し進めたいです。中学生は、愛知中学校において生徒が自分で図書館で選んだ本を愛知川幼稚園で園児に読み聞かせをするという体験を全員がしています。

(委員)

読書は人生を豊かにします。豊かでない読書には目が向けられず、経済的にゆとりがなく、気持ちにゆとりがないなど様々な家庭があります。気持ちにゆとりのない子が増えているのかもしれませんが。小学校では、教室に入れない子が学校図書館には行くことができた、という話も聞きます。小学校の学校図書館にはクラスになじむことが難しいこどもの居場所でもって、図書指導員と話をしたり、おすすめの本を読む姿があると聞いています。怖い本のコーナーに行き、「これ読んで」と図書指導員に伝え、ほかの本も図書指導員に感想を伝えるなど、人のふれあいを求めている姿があり、本を通じてゆとりが生まれ、読書にも目を向けてくれれば良いなと思います。

(事務局(館長))

小学校の図書館では、先生の了解を得たうえで図書室で過ごす児童がいることも聞いています。情報化、メディアの時代になり、学校にもギガスクールで1人1端末入りました。そうなると、将来、もしかすると紙の本を読むことができる環境は図書館だけになるのかもしれませんが。町立図書館、学校図書館は本を提供するだけでなく、落ち着いて紙の本に向き合い、世界を広げることで人の豊かさを広げる、そういった環境を町として、また学校でも提供することは非常に大切になるのではと思います。

(委員)

私は図書館で借りた本はすべて読まなければならないと思っていたところ、秦荘図書館で、しんどければ途中でやめて他の本を借りて、たくさんの本を楽しんでください、と教えてもらい気が楽になり、本を楽しめるようになりました。本を借りても、すぐに汚したりなくしたりする子もいます。本を汚したりした場合は弁償になりますか。ほかの方が何を借りているか聞くことはできないですよ。

(事務局)

誰が何を借りているのかは、ご本人以外にはお伝えできません。本を破いたり、汚してしまった場合は、状況にもよりますが、可能な限り図書館で修理をします。故意ではなくお子さんが汚したり、破かれた場合は免責とすることもあります。大人の方が、他の方が使うのがためらうほど汚された場合は弁償をお願いしています。破損時はセロテープは使わず、そのままお持ちください。

(教育長)

さきほどビブリオバトルの話がありましたが、先の教育総合会議では愛知川小学校の取り組みとして、教員と図書指導員が読書推進を目指して会議を行い、一緒になって読書の取り組みを進めているとの事例が紹介されました。指導員配置の効果として貸出冊数が増加し、また朝8時から大勢の子どもたちが図書室に来るなど成果が出ており、学校も図書館と一緒に読書や子どもの学力向上に向けて取り組んでいます。学校では、子どもが本の感想を言い合うような取り組みから始めてもよいのかもしれませんが。

(委員)

ボランティアで愛知川小学校に行くと、学校図書館が待ち合わせ場所になります。その際、様子を見てみると、朝の始業前に大勢の子どもたちが並んで本を借りている様子に驚きます。そういった様子を見ることができるのは愛知川小学校だけですので、他の小学校の様子も見たいと思います。

(事務局(館長))

ボランティア活動で小学校に来校された際に学校図書館の様子を見ていただくことは問題ありません。ぜひ他校の様子もご覧ください。

	<p>(委員)</p> <p>今後、紙の本がどうなるのか、情報化になると、紙の本が古くて新しいものになるのかもしれませんが。紙の本は余裕のある人が格好をつけて読むなど、これまでと違う感覚で紙の手触りを楽しみ、五感を刺激するような読み方をし、タブレットでは味わえない感覚を楽しむようになる、速報性や検索では紙は情報に勝てないのかなと思います。</p> <p>今後の図書館の役割では、国立国会図書館のレファレンスの事例集をみているととても面白かったのですが、愛荘町では記録していますか。記録されていたら、公開を考えても良いと思います。</p> <p>(事務局)</p> <p>軽微なものを除き記録しています。</p> <p>(事務局(館長))</p> <p>レファレンス事例について、広報あいしょうなど、図書館の使い方の一つとして広報したいと思います。</p> <p>(会長)</p> <p>では、その他の議題について、事務局よりお願いします。</p> <p>(事務局(館長))</p> <p>先日の教育委員会で、愛荘町立図書館協議会規則が改正されました。改正の内容は、協議会委員になる方を明確にし、新たに小中学生の保護者の方にも協議会委員になっていただくことを追加しました。現在の皆さんはお変わりありませんので、引き続きお願いします。</p> <p>次回の会議ですが、3月15日(水)でいかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>では、3月15日、秦荘図書館での開催となります。</p> <p>(会長)</p> <p>本日はこれで終了します。</p>
問い合わせ先	秦荘図書館 連絡先 0749-37-4345